

本論 I					〔 序論 〕	構成	
図を使った説明 [B]		図を使った説明 [A]			導入	段落の役割	
⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	
段落番号		段落番号					
別の絵に見るためには、今見えている絵を「意識」して捨てる必要がある。	若い女性とおばあさん	見るという働きには、一瞬のうちにそれを変えたりすることができる、といった一面がある。 「中心に見るもの」を決めたり、	少女と「橋」	「見る中心」を変えることで二種類の図になる	「ルビンのつぼ」 「白い」部分を中心に見る↓優勝カップのようなつぼ 「黒い」部分を中心に見る↓向き合う二人の顔の影絵	多くの人が、自分のものの見方が他者からの指摘によって変わった り、広がったりする経験があるだろう。	中心的内容

三つの絵といくつかの具体例は、筆者が言いたいことを分かりやすく説明するために用意されています。「この絵おもしろいでしょ？」と伝えただけではありません。

**筆者が本当に言いたいことはなんでしょう？**



大切なことはココにある！



〔 結論 〕

本論 II

筆者の主張・まとめ

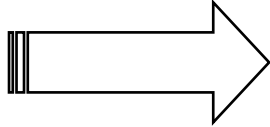
図を使った説明 [C]

⑩

⑨

⑧

味わうことができるだろう。  
〔 新しい発見の驚き 〕 や 〔 喜び 〕 を  
物を見るときには **他の見方** を試してみると、その物の他の面に気づき、



本文では、**二つの見方** について書かれていたぞ！



・見るもの〔 **中心** 〕を**変える** (⑤段落)  
・見るもの〔 **距離** 〕を**変える** (⑧段落)

〔 ひび割れてすすけた 〕 壁面のビル  
と  
きれいなビル

〔 秀麗な富士山 〕  
と  
岩石の露出した荒々しい姿

化粧台の前に座っている女性と 〔 **どくろ** 〕  
同じものであっても、見るときの〔 **距離** 〕によって見え方が変わる。